

CC-Link 特別号

グローバルスタンダード化とCC-Link Safety製品化の実現に向けて進展 2004年度のCLPAでの活動と成果を振り返って ～CLPA代表幹事退任挨拶～

三菱電機株式会社 古久保 雄二 氏



2003年5月から2005年4月までの2年間、CLPA代表幹事を務めさせていただきました。三菱電機の古久保です。

今般の代表幹事退任にあたって、2004年度のCLPA活動とその成果をご報告申し上げ、退任の挨拶に代えさせていただきます。

1 CLPA設立時の長期目標の達成は目前に！

(設立時目標:5年で700社、700機種、300万ノード)

CLPAは本年11月1日で設立満5周年を迎えます。

活動開始から前半の約2年半は、CC-Linkの知名度向上のための展示会出展や新規格「CC-Link/LT」・「CC-Link Ver.2.0」の制定とリリース等、プロモーションとテクニカルの両面からの活動を精力的に展開し、その優れた機能・性能はパートナー会員のCC-Link接続製品群として市場に送り出され、世界のユーザーに認められてグローバル普及が加速しました。

後半の2年は、この勢いをエネルギーにして国際標準ISOや中国国家标准GBの認証取得等、CC-Linkのグローバルスタンダード化に注力した活動を展開してきました。

その結果、2005年3月末現在でパートナー会員数は649社、製品出荷台数は274万ノードと、CLPA設立時の5倍規模まで拡大し、グローバルスタンダード獲得も目前まで迫りました。

2 ユーザーでの選択肢が更に拡大(接続製品の増加)

パートナー会員数の増加に伴い、会員企業による製品の開発も活発で、2004年度(2005年3月31日現在)でコンフォーマンステストに合格し発売に至ったCC-Link接続製品は累計で653機種となり、代表幹事任中の2年間で180機種余りの増加を見ることができました。

ユーザーにとって「豊富な製品群から最適な機器を選択できる」とのオープンネットワークであるCC-Linkならではの特長・利点が益々拡大してきています。

3 CC-Link Safety仕様策定・製品開発に向けて始動

ISO12100を始めとした国際安全規格の制定等に伴い、世界的な動向として注目される安全分野へのCC-Linkファミリーの普及拡大を図るべく、CLPAでは「CC-Link Safety-WG(ワーキンググループ)」を設置し具体的な仕様策定作業をスタートさせました。(現在15社参画で進行中)

このWGは現時点でのパートナー会員である／なしを問わず広くその門戸を開き、多くのベンダーに参加を呼び掛けています。是非ご参加の上、「Safety Businessの魁となる絶好のチャンス」を掴んでいただきますようお願い致します。(本ページ末の募集広告参照)

4 SEMICON-Japan'04でのグローバル化アピール

CLPAでは、04年12月1日～3日の3日間に渡り幕張メッセで開催された「SEMICON-Japan'04」に出展。

CLPAブースでは、「Global Scalability」～世界へ挑む、世界が認めるCC-Link～をテーマに「グローバルスタンダード化」・「EESソリューション」・「CC-Link Safety」・「省配線効果試算例」等を実演しました。

1,200名余の来場者から500件近くの貴重なアンケートをいただき、CC-Link/CLPAに対する国内外の来場者からの熱い期待を肌で感じることができた3日間でした。



▲CLPAブース:実機デモに見入る来場者

5 さいごに

2003年5月に代表幹事の大役を仰せ付けりましたが、翌6月には、設立当初には5%にも満たなかった海外パートナー会員の割合が会員500社到達と同時に奇しくも丁度250社の50%に達したことは、ISO国際標準取得等のCC-Linkグローバルスタンダード化活動のトリガーとなったエポックメーキングな出来事として印象に残ります。

その後のCC-Linkの発展は更に目覚ましいものがあり、代表幹事として日本・アジアから発信する、日本・アジア初のオープンフィールドネットワークであるCC-Linkのこうした発展に微力ながら貢献できたことは、私の喜びであり誇りでもあります。

これまで、ご支援いただいた幹事会、テクニカル/マーケティング部会、パートナー会員、そして何よりもCC-Link製品をご採用いただいている世界のユーザーの皆様へ厚く御礼申し上げます。CC-LinkとCLPAの更なる発展を祈念して代表幹事退任の挨拶とさせていただきます。

◆◆ CC-Link Safety WGへの参加ベンダー募集 ◆◆

あなたも、WG(ワーキンググループ)に参加し新しいビジネスにチャレンジしてみませんか！

詳細はCLPA事務局までお問い合わせください
【URL: <http://www.cc-link.org>】

CC-Link対応新製品

各製品ともCCLink協会の厳正なコンFORMANCEテストに合格した製品ですので安心してお使いいただけます。
それぞれの詳細情報・お問い合わせ先は協会ホームページメニューの「製品情報」をご覧ください。

CC-Link マスタ/ローカル | PC・他

三菱電機株式会社 <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/>
IU2-1ECLM-100 CC-Link通信ボード

- 三菱インテリジェント検査ユニットMELQIC IU2シリーズ用の増設ボードです。
- MELQIC IU2シリーズの検査ユニット本体の slots に本ボードを挿入して使用します。
- MELQIC IU2シリーズを用いて構築した検査装置と、ライン等の制御をするシーケンサや各種機器とを、CC-Linkを介して容易に接続できます。
- MELQICは日刊工業新聞主催の「2004年十大新製品賞本賞」受賞製品で、リアルタイムOSによるマルチタスク環境の実現により、検査時間の短縮や検査時間の一定化などを実現できます。



CC-Link スレーブ | デジタル/I/O

三菱電機株式会社 <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/>
AJ65VBTC□-□ リモートI/Oユニット センサコネクタタイプ (e-CON)

- 業界標準のe-CONを採用
- センサコネクタで簡単配線
- ユニットの取付けはDINレール、ネジ取付けが選択可能
- 3線式センサ入力が可能。



三菱電機株式会社 <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/>
AJ65VBTS□-□ リモートI/Oユニット スプリングクランプ端子台タイプ

- ネジ締め、増し締め不要のため配線工数の低減可能
- 端子台は2ピース構造であり、メンテナンス時にも配線をそのままユニット交換可能
- ユニットの取付けはDINレール、ネジ取付けが選択可能
- 3線式センサ入力が可能。



CC-Link スレーブ | バーコード・ID

日本バルーフ株式会社 <http://www.balluff.co.jp/>
BIS C-489-1_AA IDシステムコントロールユニット/標準仕様

- 豊富なIDタグが使用可能
φ9mm/512バイトからのBIS Cシリーズのタグに対応
- 2チャンネル仕様
IDアンテナを2本接続でき、並行処理が可能。
- インゾーン信号出力機能付き
IDタグが交信範囲内にある事を確認。
- ライトプロテクト機能付き
意図しない書き込みを防止し、データを保護。
- 最大接続数16台
マスタユニット1台あたり、最大16台接続可能。
- 確実なID通信
環境性に優れた電磁結合方式と多重チェックにより、誤データの通信を防止。



日本バルーフ株式会社 <http://www.balluff.co.jp/>
BIS S-404-30AA IDシステムコントロールユニット/高速仕様

- 高速仕様
8倍(当社比)の高速交信により、データ読み書き時間を短縮。
- 2チャンネル仕様
IDアンテナを2本接続でき、並行処理が可能。
- インゾーン信号出力機能付き
IDタグが交信範囲内にある事を確認。
- ライトプロテクト機能付き
意図しない書き込みを防止し、データを保護。
- 最大接続数16台
マスタユニット1台あたり、最大16台接続可能。
- 確実なID通信
環境性に優れた電磁結合方式と多重チェックにより、誤データの通信を防止。



CC-Link 周辺機器 | ケーブル・コネクタ

LAPP KABEL (ラップケーブル) <http://www.kmecs.com/>
ユニットロニクバス CCL

- ユニットロニクバス CCLは、LAPP社の世界的な知名度と高い信頼性により、海外向けに販売した際にエンドユーザからも安心感を得ることができます。また万が一の際にもグローバルなサポート体制で世界中のお客様にサービスを提供いたします。さらにLAPP社のCC-Linkケーブルは、UL/GSAの認証を受けています。(CM,PLTC)



海外拠点便り

■CLPA中国普及センター CC-Linkセミナー「CC-Link 2004 China Road Show(後期)」開催

開催期間/場所 2004年10月26日[鄭州]、10月29日[武漢]
11月02日[広州]、11月06日[青島]

セミナーではCC-Link技術、応用事例の説明、CC-Link接続製品の紹介を行いました。

2004年2月の上海会場からスタートしたこのRoad Showは各会場とも満席の150~400名の受講者があり、8地区で延べ2000名を超える盛況ぶり、会場は「アジア発&初」のオープンネットワークの技術や動向を習得しようとする中国の方々の熱気で溢れました。

今後も中国でのCC-Link普及のため積極的に活動を進めていきます。



◀熱気溢れた武漢会場

セミナーの合間に少林寺(鄭州)にてくつろぐ▶



■CLPA韓国支部 KOFA(韓国国際自動化総合展)2005出展

開催期間/場所 2005年3月9日~12日[COEX, Seoul, Korea]

韓国内最大規模の産業展示会と言われる KOFA'05に30余ヶ国から300余社が参加して開催されました。これにCLPA韓国支部も出展し、CLPAの活動と共にパートナーメーカー11社の製品を紹介しました。

展示期間中約1,800人のUSERがCLPAブースに来場し、資料の請求等CC-Linkに対して深い関心が寄せられました。又、期間中に政府機関の産業資源部主催でのFieldbusのセミナーが開催され、CC-Linkセミナーでは多くのUSERに具体的にCC-Link技術/CLPA活動を紹介することができました。



▲自動車・液晶関係のビッグユーザー来場でにぎわったCLPAブース

退任幹事挨拶



株式会社デジタル 大谷 宗宏 氏

㈱デジタルの大谷でございます。このたび社命により海外に赴任することになり、残念ながら幹事を退任することとなりました。私はCC-Link協会設立当初から参画して立ち上げてきた訳ですが、CC-Link協会の皆さんの努力と会員の皆様のご協力でごここまで大きく発展してきたことは大変喜ばしい事と思っております。

後任には弊社の宮崎が担当致しますので、今まで以上にご高配のほどよろしくお願い申し上げます。また、離任は致しますがCC-Link協会の今後の益々の発展を祈り申し上げます。ありがとうございました。

新幹事挨拶



株式会社デジタル 宮崎 玉毅 氏

㈱デジタルの宮崎です。この度、前任の大谷に代わりましてCC-Link協会の幹事を担当することになりました。大谷と変わらずご支援のほどよろしくお願い致します。

CC-Linkは国内はもちろん海外でもだんだんメジャーになりつつあります。これはCC-Link協会の皆さんの努力と会員皆様のご協力の賜物と思えます。私も今後皆様とご一緒させていただき、益々のCC-Link協会の発展に寄与できればと考えてます。微力ではございますがよろしくお願い申し上げます。



三菱電機株式会社 尼崎 新一 氏(新・代表幹事)

このたび、古久保幹事の後任としてCC-Link協会幹事会の四代目の代表幹事を務めさせていただくことになりました三菱電機㈱の尼崎です。パートナー会員の皆様の弛まない製品開発へのご努力とCLPAプロモーション活動へのご支援とによって、CC-Link及びCLPAは協会設立時の5倍の規模までに発展することができました。この場を借りまして感謝申し上げます。

今後は、今年11月にCLPA設立5周年を迎えるにあたり、設立時の目標であった700社・700機種・300万ノードを達成し、グローバルスタンダードの地位を確固たるものにするべく努力していく所存ですので、会員各位の倍旧のご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

CLPA Schedule

4月	・・・ 27日	第6回CC-Link Safety WG
5月	・・・ 20日	第7回CC-Link Safety WG
	・・・ 26日	第20回幹事会
6月	・・・ 15-16日	Open Network Automation展 (科学技術館/東京・北の丸公園)

【編集・発行】

〒462-0825

名古屋市中区大曾根町3-15-5 明治安田生命大曾根ビル6F

CC-Link協会 事務局長 田中 充明

TEL (052)919-1588 FAX (052)916-8655

E-Mail cc-link@post0.mind.ne.jp

URL <http://www.cc-link.org>

住所表記が変わりました!
(電話番号・FAX番号は従来通り)